シラバス参照

タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	SSCS3604		
科目名	競技スポーツ方法実習Ⅳ		
担当教員	山本　大		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火２		
講義室	1402	単位区分	選
授業形態	実習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	3000シリーズ		
科目小分類	６専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP4-F（探究力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP2-A（日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢）地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP4-I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 F1　探求と論拠（35%） F2　課題解決　（35%） A2　異文化適応（10%） I2　量的分析　（10%） I3　情報分析　（10%）		
教員の実務経験	2003年から2016年までプロサッカーコーチとして、日本サッカー協会およびプロサッカークラブ（Jリーグ）で育成年代を対象に現場で指導を行うと同時に、日本サッカー協会公認の指導者養成インストラクターとして、指導者の養成に携わってきました。本授業では、戦術的課題の成功・失敗例や課題の抽出など、実際の現場でおきた具体例も取り上げながら講義をします。（第2回、第4回、第6回、第8回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット　能力開発の目標ステージとの対応 ３発展期～４定着期		
科目概要・キーワード	競技スポーツ方法実習Ⅰ～Ⅲでの分析結果を踏まえ、これまでの取り組みのまとめを行います。授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて自身の促発能力の現在値を確認しながら、さらなる課題に取り組み、問題を解決する能力を習得することを目的とします。授業形態は実習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります		
授業の趣旨	■副題 促発能力の分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて自身の促発能力の現在値を確認します。 ■授業の目的 これまで学んだ競技スポーツ方法実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容についてさらに深く追求します。 ■授業のポイント		

	本授業では、特に情況的意味構造の観察を中心に学習し、これまでと同じように創発・促発能力分析を繰り返します。また学習者同士が議論を通して、自身の指導者としての促発能力をより一層向上させ、加えて効果的な指導方法を考案できるようになることを目的とします。
総合到達目標	■運動学の観点から学習者の技能や動作をサポートできる教授法を身につけるために、これまで学んだ創発能力や促発能力あるいは局面構造といった分析方法をさらに理解し、具体的なアドバイスや練習方法に変換できる能力を習得する。 ・実施種目において具体例を示し、創発能力および促発能力について説明できる。（第2回、第4回、第6回、第8回、第10回、第12回） ・情況的意味構造とは何か、具体例を挙げて説明できる。（第2回、第4回、第6回、第8回、第10回、第12回） ・学習者の運動感覚能力を向上させられる具体的な声掛けや、指導の方法を 「観察能力」「交信能力」「代行能力」および「処方能力」を用いて考案できる。（第3回、第5回、第7回、第9回、第11回、第13回、第14回）
成績評価方法	（成績評価手段）促発能力分析報告書３回　発表３回　レポート４回　※授業の進行具合により変更する場合があります。 ■促発能力分析報告書（30%）適応ルーブリック　F1、F2、I2、I3 （評価の観点）局面構造および創発・促発能力に基づいて分析し、報告書が作成できるか評価します。 （フィードバック）提出後に講評を行います。 ■発表（30%）適応ルーブリック　A2、I3 （評価の観点）発表シートを基に、映像を含めた発表ができるか評価します。 （フィードバック）発表後、講評を行います。 ■レポート（40%）　F1、I2、I3 （評価の観点）設問に対して適切に回答しているかを評価します。また回答の量（80%以上）と質（論理的）についても評価します。
履修条件	競技スポーツ方法実習Ⅰ（SSCS2305）・Ⅱ（SSCS2306）・Ⅲ(SSCS3603)を履修していることが望ましいです。
履修上の注意点	特にありません。
授業内容	

回	内容
1	①授業テーマ　ガイダンス ②授業概要　　授業の進め方や評価について説明をおこなう。また授業の概要やその方法を学ぶ。（A2） ③予習（60分）シラバスの内容を一読する。 ④復習（60分）競技スポーツ方法実習Ⅰ・Ⅱの授業シートを見直す。
2	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅰ（「伸長能力」実践１回目） ②授業概要　　情況的意味構造の観察能力の１つの事例として、学習者の伸長能力について実習を通して理解を深める。（F1、F2、I3） 担当者の実務経験を踏まえて、指導者の観察能力についてアドバイスをします。 ③予習（60分）競技スポーツ方法実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで作成した創発能力分析報告書を見直す。 ④復習（60分）授業シートを見直し、必要なら加筆修正をする。
3	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅰ（「伸長能力」発表１回目） ②授業概要　　学習者の伸長能力を事例に、情況的意味構造の観察能力について報告書をまとめ、発表と議論をおこなう。さらに課題解決のための練習方法を考案する。（F1、F2、A2、I3） ③予習（60分）録画など実習内容を記録したデータを見直す。 ④復習（60分）考案した練習内容に問題がないか再考する。
4	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅰ（「伸長能力」実践２回目） ②授業概要　　前回考案した練習方法を基に、実習を通してその効果の有無や度合いについて確認する。（F1、F2、I3） 担当者の実務経験を踏まえて、指導者の観察能力についてアドバイスをします。 ③予習（60分）考案した練習方法に不備がないか確認する。 ④復習（60分）実習内容を振り返り、必要なら加筆修正をする。
5	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅰ（「伸長能力」発表２回目） ②授業概要　　伸長能力ついて３回の授業で学んだことをまとめて発表する。（F1、A2、I3）

		③予習（60分）第２回～４回までの授業内容を振り返り、内容を整理する。 ④復習（60分）発表した資料の不足個所を補う。
	6	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅱ（「良い状況判断」実践１回目） ②授業概要　　良い状況判断のプレーとは何か、実習を通して成功例と失敗例を抽出し、映像や振替入りを通して理解を深める。（F1、F2、I3） 　　　　　　　担当者の実務経験を踏まえて、状況判断の良し悪しについての観点や基準についてアドバイスをします。 ③予習（60分）第2回の授業を参考に、本授業のデータ記録方法について検討する。 ④復習（60分）授業シートを見直し、必要なら加筆修正をする。
	7	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅱ（「良い状況判断」発表１回目） ②授業概要　　良い状況判断のプレーや悪い状況判断のプレーを映像から抽出し、その原因についてまとめて発表と議論をおこなう。さらに課題解決のための練習方法を考案する。（F1、F2、A2、I3） ③予習（60分）考案した練習方法に不備がないか確認する。 ④復習（60分）実習内容を振り返り、必要なら加筆修正をする。
	8	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅱ（「良い状況判断」実践２回目） ②授業概要　　前回考案した練習方法を基に、実習を通してその効果の有無や度合いについて確認する。（F1、F2、I3） 　　　　　　　担当者の実務経験を踏まえて、状況判断の良し悪しについての観点や基準についてアドバイスをします。 ③予習（60分）考案した練習方法に不備がないか確認する。 ④復習（60分）実習内容を振り返り、必要なら加筆修正をする。
	9	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅱ（「良い状況判断」発表２回目） ②授業概要　　良い状況判断について３回の授業で学んだことをまとめて発表する。（F1、A2、I3） ③予習（60分）第６回～８回までの授業内容を振り返り、内容を整理する。 ④復習（60分）発表した資料の不足個所を補う。
	10	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅲ（「先読み」実践１回目） ②授業概要　　相手の動きの先読みや、味方の動きの先読みについて、実習を通して理解を深める。（F1、F2、I3） ③予習（60分）これまで行った実習の授業を参考に、動画などのデータの記録方法について確認する。 ④復習（60分）授業シートを見直し、必要なら加筆修正をする。
	11	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅲ（「先読み」発表１回目） ②授業概要　　成功する先読みと失敗する先読みを比べ、問題となる課題を抽出し、解決するための練習方法を考案し発表する。（F1、F2、A2、I3） ③予習（60分）録画など実習内容を記録したデータを見直す。 ④復習（60分）考案した練習内容に問題がないか再考する。
	12	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅲ（「先読み」実践２回目） ②授業概要　　前回考案した練習方法を基に、実習を通して、その効果の有無や度合いについて確認する。（F1、F2、I3） ③予習（60分）考案した練習方法を見直し、問題がないか確認する。 ④復習（60分）実習内容を振り返り、必要なら加筆修正をする。
	13	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅲ（「先読み」発表２回目） ②授業概要　　先読みについて３回の授業で学んだことをまとめて発表する。（F1、A2、I3） ③予習（60分）第１０回～１２回までの授業内容を振り返り、内容を整理する。 ④復習（60分）発表した資料の不足個所を補う。
	14	①授業テーマ　情況的意味構造の観察Ⅲ（まとめ） ②授業概要　　これまでおこなった「伸長能力」・「良い状況判断」・「先読み」について、分析・発表・議論を通して理解したことを、実習を通して再確認する。（F2、I3） ③予習（60分）「伸長能力」・「良い状況判断」・「先読み」の各授業でまとめたシートを確認する。 ④復習（60分）　実習内容で不足している個所を補う。
	15	①授業テーマ　まとめ ②授業概要　　これまで学んできた講義内容を振り返り、まとめレポートを作成する。（F1、F2、I2、I3） ③予習（60分）作成した促発能力分析報告書を見直す。

	④復習（60分）各回の授業概要や作成したシートやレポートについて、キーワードを添えて要約を作成する。
関連科目	競技スポーツ方法実習Ⅰ（SSCS2305）・Ⅱ（SSCS2306）・Ⅲ（SSCS3603）・Ⅳ（SSCS3604）
教科書	特にありません。
参考書・参考ＵＲＬ	特にありません。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先　必要な時に告知します。 ■オフィスアワー　木曜２限。それ以外の時間については、教員と予約日時を相談後、研究室で対応します。
研究比率	

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.